

リーベル出張相談の案内

「リーベル」では、各町村福祉より依頼を受け、「リーベル」までは距離がありすぎて出向けない方のために、各町村での出張相談を行っています。

★黒木町 「心の健康相談」 対応：知的、身体担当者
8/19（水）、9/16（水）、10/21（水）、11/18（水）、12/16（水）、1/20（水）
10：00 ～ 11：00 会場：地域交流センター「ふじの里」

★広川町 「出張相談」 対応：精神担当者
毎月第一火曜日 13：00 ～ 14：00 会場：広川町役場

★星野村 「精神保健相談」 対応：精神、知的（もしくは身体）担当者
8/28（金）、11/27（金）、2/26（金）
13：00 ～ 15：00 会場：星野村総合保健福祉センター

★矢部村 「精神保健相談」 対応：精神担当者
9月に予定 13：00 ～ 14：00 会場：矢部村役場



News 八女市土橋四つ角に

おいしい肉まん屋オープン！ 店の名は、「陽（ひなた）」

「リーベル」近くにオープンしたこのお店は、八女市上陽町にある社会福祉法人こぐま福祉会「みんなの館」が出されたお店です。

おいしい肉まんだけでなく、お弁当やハンバーガー、上陽町特産品など販売されているこのお店は、店長として重度の障害を持っている西村さんと井上さんが交代で母親のサポートを受けながら笑顔でお客さんを迎え入れてあります。

運営するこぐま福祉会の大熊理事長の発案で「元気に働く障害者に温かな光が当たる場」としてできたお店ですが、その名の通り、買い物する人たちに温かい思いが伝わってきます。

また何よりも、この肉まんがおいしい！！

以前から知る人ぞ知る肉まん「みんなの館」でしか食べられなかったのが、八女市の中心で食べられるようになって、知っている人はうれしいのではないのでしょうか。食べたことがない人は、ぜひ一度どうぞ。病みつきになること必至です！



平成21年度 南部ブロック 障害者雇用促進面談会

平成21年10月6日（火）
12：00～14：00

会場：久留米リサーチセンタービル 展示場
（久留米市 百年公園横）

問い合わせについては
0943-23-6188

ハローワーク八女



リーベルの閉館日のお知らせ

8月8日（土）、15日（土）はお休みとさせていただきます。

尚、8月13日は、知的、精神担当者

8月14日は、知的、身体担当者

で対応させていただきます。

閉館時間帯は、9：30～17：00です。

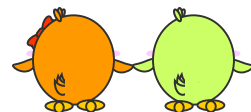
編集後記

この通信で書いたように「リーベル」開設2周年のシンポジウムが無事終わってホッとしました。というか、センター長以外は、その時の寸劇が終わったところでホッとしたというのが正直な気持ちでした。たいした演技力も要らないものであったのですが、やはり檀上は違いますね～。

皆さん、演技力の増した次回を期待してください・・・。

ということは、「リーベル」は、今後もずーっと八女の地にあり続けるということです。

皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。



リーベル通信



発行責任者：八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

住所：八女市本村425-9

電話：身体しょうがい・知的しょうがい・しょうがい児 0943-22-2610

精神しょうがい 0943-22-2630



リーベル開設2周年記念シンポジウム開催報告

去る5月16日（土曜日）に八女文化会館において、「リーベル」開設2周年記念式典としてシンポジウムを開催しました。

当日は、同じ相談支援に従事している方から、障がい当事者の方、その家族の方、福祉関係機関の方、民生委員・児童委員さんや教育機関、地域の方々など多くの方に来ていただきました。

内容としては、まず、「『リーベル』ってどんな所」ということで地域で開く個別支援会議というものを「リーベル」スタッフと八女市しょうがい者福祉系の職員で寸劇を行いました。演技力とはともかく「どんなふうに支援の形が作っていかれるのかな？」という疑問に対しては、その寸劇でも少しはお答えができたかなと思います。

メインのシンポジウムでは、5名のシンポジストにご協力いただき「共に生き、共に支えあう地域を目指して～相談支援に求めるもの～」というテーマで討議しました。



左から、柳沢氏、大熊氏、伊藤氏



貴重なるご意見をいただいたシンポジストの方々です。

- 福岡県障害者福祉課自立支援係長 原野 敏夫 氏
- 福岡県自立支援協議会会長 門田 光司 氏
- 北九州市障害者地域生活支援センター長 柳沢 享 氏
- 社会福祉法人「こぐま福祉会」理事長 大熊 猛 氏
- 八女市商工観光課長(前福祉課参事補佐) 伊藤 芳浩 氏

心より感謝申し上げます。



左から、田島センター長、原野氏、門田氏

限られた時間でしたが、相談支援事業所の地域支援というなかでの中核的な役割から、地域の人々がちょっと声をかけるそんな地域力の大切さなど、今求められているものを話していただきました。

おわりに、会場から質疑応答があったのですが、最後の当事者の方からの訴えを聞き、相談される方からの話には、しっかりと耳を傾け、一緒に行動を起こすことの大切さを改めて強く感じました。

当日ご来場いただきました方々、本当にありがとうございました。



寸劇・・・みんな、なりきっています。

ある親子の「困った。」をみんなで考えました。



会場からも質問や意見をいただきました。



リーベル出張相談の案内

「リーベル」では、各町村福祉より依頼を受け、「リーベル」までは距離がありすぎて出向けない方のために、各町村での出張相談を行っています。

★黒木町 「心の健康相談」 対応：知的、身体担当者

8/19（水）、9/16（水）、10/21（水）、11/18（水）、12/16（水）、1/20（水）
10：00 ～ 11：00 会場：地域交流センター「ふじの里」

★広川町 「出張相談」 対応：精神担当者

毎月第一火曜日 13：00 ～ 14：00 会場：広川町役場

★星野村 「精神保健相談」 対応：精神、知的（もしくは身体）担当者

8/28（金）、11/27（金）、2/26（金）
13：00 ～ 15：00 会場：星野村総合保健福祉センター

★矢部村 「精神保健相談」 対応：精神担当者

9月に予定 13：00 ～ 14：00 会場：矢部村役場



News

八女市土橋四つ角に

おいしい肉まん屋オープン！ 店の名は、「陽（ひなた）」

「リーベル」近くにオープンしたこのお店は、八女市上陽町にある社会福祉法人こぐま福祉会「みんなの館」が出されたお店です。

おいしい肉まんだけでなく、お弁当やハンバーガー、上陽町特産品など販売されているこのお店は、店長として重度の障害を持っている西村さんと井上さんが交代で母親のサポートを受けながら笑顔でお客さんを迎え入れてあります。

運営するこぐま福祉会の大熊理事長の発案で「元気に働く障害者に温かな光が当たる場」としてできたお店ですが、その名の通り、買い物する人たちに温かい思いが伝わってきます。

また何よりも、この肉まんがおいしい！！

以前から知る人ぞ知る肉まん「みんなの館」でしか食べられなかったのが、八女市の中心で食べられるようになって、知っている人はうれしいのではないのでしょうか。食べたことがない人は、ぜひ一度どうぞ。病みつきになること必至です！



平成21年度

南部ブロック 障害者雇用促進面談会

平成21年10月6日（火）
12：00～14：00

会場：久留米リサーチセンタービル 展示場
（久留米市 百年公園横）

問い合わせについては

0943-23-6188

ハローワーク八女



リーベルの閉館日のお知らせ

8月8日（土）、15日（土）はお休みとさせていただきます。

尚、8月13日は、知的、精神担当者

8月14日は、知的、身体担当者

で対応させていただきます。

閉館時間帯は、9：30～17：00です。

編集後記

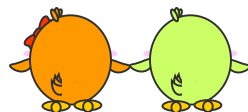
この通信で書いたように「リーベル」開設2周年のシンポジウムが無事終わってホッとしました。

というか、センター長以外は、その時の寸劇が終わったところでホッとしたというのが正直な気持ちでした。たいした演技力も要らないものであったのですが、やはり檀上は違いますね～。

皆さん、演技力の増した次回を期待してください・・・。

ということは、「リーベル」は、今後もずーっと八女の地にあり続けるということです。

皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。



第12号

八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

平成21年 7月 31日

リーベル通信



発行責任者：八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

住所：八女市本村425-9

電話：身体しょうがい・知的しょうがい・しょうがい児 0943-22-2610

精神しょうがい 0943-22-2630



リーベル開設2周年記念シンポジウム開催報告

去る5月16日（土曜日）に八女文化会館において、「リーベル」開設2周年記念式典としてシンポジウムを開催しました。

当日は、同じ相談支援に従事している方から、障がい当事者の方、その家族の方、福祉関係機関の方、民生委員・児童委員さんや教育機関、地域の方々など多くの方に来ていただきました。

内容としては、まず、「『リーベル』ってどんな所」ということで地域で開く個別支援会議というものを「リーベル」スタッフと八女市しょうがい者福祉系の職員で寸劇を行いました。演技力はともかく「どんなふうに支援の形が作っていかれるのかな？」という疑問に対しては、その寸劇でも少しはお答えができたかなと思います。

メインのシンポジウムでは、5名のシンポジストにご協力いただき「共に生き、共に支えあう地域を目指して～相談支援に求めるもの～」というテーマで討議しました。



左から、柳沢氏、大熊氏、伊藤氏



貴重なるご意見をいただいたシンポジストの方々です。

- 福岡県障害者福祉課自立支援係長 原野 敏夫 氏
- 福岡県自立支援協議会会長 門田 光司 氏
- 北九州市障害者地域生活支援センター長 柳沢 享 氏
- 社会福祉法人「こぐま福祉会」理事長 大熊 猛 氏
- 八女市商工観光課長(前福祉課参事補佐) 伊藤 芳浩 氏

心より感謝申し上げます。



左から、田島センター長、原野氏、門田氏

限られた時間でしたが、相談支援事業所の地域支援というなかでの中核的な役割から、地域の人たちがちょっと声をかけるそんな地域力の大切さなど、今求められているものを話していただきました。

おわりに、会場から質疑応答があったのですが、最後の当事者の方からの訴えを聞き、相談される方からの話には、しっかりと耳を傾け、一緒に行動を起こすことの大切さを改めて強く感じました。

当日ご来場いただきました方々、本当にありがとうございました。



寸劇・・・みんな、なりきっています。

ある親子の「困った。」をみんなで考えました。



会場からも質問や意見をいただきました。

